

第91回日本細菌学会総会

総会長 林 哲也（九州大学 大学院医学研究院 教授）

平成30年3月27日(火)～29日(木) 福岡国際会議場

シンポジウム・ワークショップ企画の公募について

第91回日本細菌学会総会のシンポジウム・ワークショップの企画提案を以下の要領で公募いたします。

第91回総会は、日本側担当による日韓シンポジウムを一体化させて運営することが決まっています。そのため、既に決定している企画（資料1）もありますが、多くを一般公募から取り上げる予定です。奮ってご応募ください。

公募企画の種類

【シンポジウム】

依頼講演からなる 1テーマ2時間半の企画を3題程度募集いたします。

【ワークショップ】

依頼講演からなる 1テーマ2時間の企画を7題程度募集いたします。

第90回総会のアンケート結果を反映させ、今回もシンポジウム等企画調整委員会が一般演題から選抜した演者によるワークショップを毎日設ける予定にしております。このため、公募ワークショップについても 全てを依頼演題で構成する形式（依頼演題型）に限らせていただきます。予めご了承ください。

* **非会員演者について**：シンポジウム・ワークショップで非会員の方に講演依頼をした場合に伴う費用（学会参加費・旅費・滞在費）は、原則として、1企画につき1名を総会から補助いたします。ただし、1テーマ当たりの非会員演者数が多数になる場合は、コンビーナの方に一部の負担をお願いする可能性があることをご理解ください。

企画の採択について

ご応募いただいた企画は、総会長、シンポジウム等企画調整委員会で審議調整したうえで採否を決定し、コンビーナ（提案者）にお知らせいたします。採択された企画内容の構成は原則として提案者にお任せいたしますが、総会長もしくはシンポジウム等企画調整委員会から調整・変更等をお願いする場合がありますことをご理解ください。

応募方法

下記事項をご記入のうえ、日本細菌学会事務局までE-mail(gakkai23@kokuhoken.or.jp)にてご提案ください。

- 1) テーマタイトルと研究領域区分・キーワード（資料2参照のこと）
- 2) コンビーナの氏名・学会員番号・所属・連絡先
- 3) 概要（400字以内）
- 4) 想定演者（案）の氏名・所属
- 5) 想定聴衆数（会場の都合により、ご希望の部屋とはならない可能性がございますが、ご了承下さい）
- 6) 応募される内容については資料1、2を参考にして下さい。

提案締切

2017年7月31日（月）

資料 1

テーマ・内容

シンポジウム (2.5h)	1日目午前&午後；2日目午前；3日目午前	
	1 JKISM(日韓国際微生物シンポジウム企画)	抗酸菌関連 (韓国側に提案中)
	2 IS	Genomics
	3 IS	(仮題)Breaking the Barrier Between Commensalism and Pathogenicity
	4 化療学会・感染症学会・臨床微生物学会と共催	Drug resistance
	5 日本微生物生態学会と共催	病原菌の環境中での動態または難培養菌へのアプローチ
	6	Bacterial Secretion sysytem
	7 獣医学会との共催	人獣感染症関係
	8	事例・集団感染から学ぶ(仮)
	9	Human microbiota
	10	公募による
	11	公募による
	12	公募による
プラスα	基本的には3シンポジウムが同時進行する予定ですが、面白い企画等があれば追加可能 (WSとの同時進行はない)	

WS(2 h)	1日目夕方；2日目夕方；3日目午後 (5会場使用可能)	
	1 JKISM(日韓国際微生物シンポジウム企画)	若手交流 (韓国側に提案中)
	2 JKISM(日韓国際微生物シンポジウム企画)	若手交流 (韓国側に提案中)
	3 若手コロセウム	コロセウム側にお任せ
	4 選抜WS	
	5 選抜WS	
	6 選抜WS	
	7 選抜WS	
	8 選抜WS	
	9	公募による
	10	公募による
	11	公募による
	12	公募による
	13	公募による
	14	公募による
	15	公募による
	5題のWSが同時進行(シンポジウムとの同時進行はない)	

資料 2 研究領域区分

研究領域	キーワード
1 分類・疫学・感染症	a. 系統解析・分類・タイピング b. 疫学・分子疫学 c. 臨床微生物の分離・性状 d. 検出・同定・診断の技術 e. その他
2 生態	a. 生態・共生・環境微生物 b. 細菌叢 c. 生育環境・培養条件 d. その他
3 生理・構造	a. 代謝・生合成・メタボローム b. 運動 c. 情報伝達（菌体内・菌細胞間） d. 菌体表層構造・膜構造・細胞骨格 e. 分泌と輸送 f. その他
4 遺伝・ゲノミクス・バイオテクノロジー	ゲノミクス・ a. バイオインフォマティクス・システムズバイオロジー 遺伝子水平伝播・可動性遺伝因子・進化 b. 遺伝子発現制御・ c. トランスクリプトーム解析 d. 遺伝子組換え・解析技術・バイオテクノロジー・合成生物学 e. その他
5 病原性	a. 接着因子・定着因子 b. 毒素・エフェクター・生理活性物質 c. 細胞内侵入・細胞内寄生 d. 免疫回避・生体内増殖 e. 感染モデル f. その他
6 生体防御	a. 自然免疫 b. 適応免疫・ワクチン・ c. その他の感染予防法 d. その他
7 抗菌性物質・薬剤耐性	a. 抗菌性物質 b. 薬剤耐性 c. その他
8 その他	